

マスク着用緩和は3月13日 屋内外問わず 学校は4月1日から

2/10 毎日新聞



政府は10日、新型コロナウイルス感染症対策でのマスク着用ルールを、3月13日に緩和すると決めた。屋内外を問わず、着用するかどうかは個人の判断に委ねることになる。感染を広げないため、高齢者施設の訪問時や通勤ラッシュで混雑した電車内などを「着用が効果的な場面」として例示。学校では4月1日から、着用を求めないことを基本とする。

岸田文雄首相と加藤勝信厚生労働相ら関係閣僚が10日午後、首相官邸で協議して確認した。同日開かれる政府新型コロナウイルス感染症対策本部で正式決定する。【神足俊輔】

外出時は「ポケットにマスクを」 尾身茂会長、マスク緩和後も

2/10 毎日新聞

外出する時は「ちょっとめんどくさいけど、ポケットにマスクを入れて」――。政府の新型コロナウイルス感染症対策を議論する基本的対処方針分科会の尾身茂会長は10日に記者会見し、マスク着用ルールが緩和された後も、混雑した場所などに備えてマスクを持ち歩くことが望ましい、との考えを示した。



マスクを着けて記者会見する尾身茂・基本的対処方針分科会長＝東京都千代田区で2023年2月10日午後6時46分、原田啓之撮影

同日の分科会では、3月13日からマスク着用を原則個人の判断としつつも、医療機関や混雑したバス、電車では着用を推奨する政府方針を了承した。

分科会後に記者会見した尾身氏はマスクの感染防止効果を踏まえて「不特定多数の人がいて、換気が悪くて、密になるような場合は、これからもマスクを着けることを考えてもいい」と指摘した。

特に電車やバスには高齢者や重い持病がある人が乗っている可能性があることから「ちょっとめんどくさいけど、ポケットにマスクを入れて、外を歩いたら外して外気を吸う。電車に乗るときは着けることが求められる。これが専門家の共通認識だ」と述べた。

一方で、その他にどの場面でマスク着用が必要かについては「100万の場面がある。国や専門家がいちいちの場面について、箸の上げ下げまで指示することは、この時代にはふさわしくない」と述べ、細かく言及することを避けた。【原田啓之】

一方、その他にどの場面でマスク着用が必要かについては「100万の場面がある。国や専門家がいちいちの場面について、箸の上げ下げまで指示することは、この時代にはふさわしくない」と述べ、細かく言及することを避けた。【原田啓之】